ＦＢＡ発第 172 号
令和８年５月

各加盟団体長　殿

福井県バドミントン協会
会 長　中 嶋 光 司
（公印略）

第 43 回アーバンフィット 24 全日本シニアバドミントン選手権大会
福井県予選会実施要項

１．大 会 名　第 43 回全日本シニアバドミントン選手権大会福井県予選会
２．主　　催　福井県バドミントン協会
３．開催日時　令和８年７月１２日（日）
　９：００　開場・会場準備（参加者もご協力ください）
　９：３０　開会式
　９：４５　競技開始
４．会　　場　福井市東体育館（福井市東郷二ヶ町 6-6-1　TEL 0776-41-4040）
５．対象年代　すべての年代　（70 歳以上、65 歳以上、60 歳以上、55 歳以上、50 歳以上、45 歳以上、40 歳以上、35 歳以上、30 歳以上の男子・女子）
　※公開競技対象の年代（75 歳以上、80 歳以上、85 歳以上）は除く。
６．競技種目　全ての年代：　男子・女子　シングルス・ダブルス
７．選考方法　別紙を参照すること。
８．競技規則　現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規則による。
　※本予選会は、競技規則記載の「代替スコアリングシステム２．１ゲーム１５点で２ゲーム先取の３ゲームマッチ」を適用する。（各ゲームの８点でインターバル、１４点オールで２点差がつくまで行い、最大２１点とする。）
９．試 合 球　第１種水鳥検定合格球を対戦者同士が出し合うこと。
10．競技方法　各年代の参加数が３以内ならばリーグ戦、４以上ならばトーナメント戦を行う。
　ただし、申し込み状況によっては競技方法を変更する場合もある。
11．参加資格　◆本年度の福井県バドミントン協会登録者で、第 43 回アーバンフィット 24 全日本シニアバドミントン選手権大会（以下「全日本シニア大会」という）の出場を希望する者。
　◆上記各種目の年齢に達していること。（年齢起算日は令和８年４月１日とする。）
　◆選手選考等の基本的事項は、「19. その他」に記載のとおりとする。
　◆予選会参加申込者で、予選会当日に本人が会場に来て受付及び試合をすることができない場合は、失格とする。
　ただし、慶弔等により当日参加できない者に限り、二次募集者に含める場合がある。
　◆その年度の国体選手は参加できない。
　◆本予選会当日までに公認審判員資格を取得している者。
12．参 加 料　１人　１，２００円　**◆参加料は、当日払いとします。**
　◆当該年代の申込が１組（または１名）のみで予選なしで出場候補者となった場合も、参加料は返還しません。
13．申込方法　**別紙「大会申込方法」を参照ください。**
　＊本年度の申込書の様式を必ず使用すること。
14．送 付 先　**別紙「大会申込方法」を参照ください。**
15．申込期間　**別紙「大会申込方法」を参照ください。**
16．組み合せ　県協会大会事業部会において組み合わせる。
17．代表決定　県代表選手は、本予選会の結果をもとに出場候補者の中から県協会常任理事会で正式に決定される。

18. 問合せ先　福井県バドミントン協会大会事業部　内藤正晃　携帯電話 090-2378-6531

※上記問合せ先以外の県協会役員に問い合わせないこと。

19. そ の 他　◆第 43 回全日本シニア大会は、北海道にて 2 週にわたり開催される予定です。

※年代によって会期・会場が異なりますのでご注意ください。

※各年代の準決勝・決勝は各会場での実施となります。

第 1 週目：10 月 24 日（土）～　26 日（月）	**45 歳以上**	**釧路市**
	50 歳以上	**帯広市**
	55 歳以上	**旭川市、鷹栖町**
	60 歳以上	**室蘭市**
	65 歳以上	**苫小牧市**
	70 歳以上	**岩見沢市**
第 2 週目：10 月 30 日（金）～11 月 1 日（日）	**30、35、40 歳以上**	**札幌市**
	75、80、85 歳以上	**小樽市**

◆申込種目、選考方法等の基本的事項は、次の通りとする。

(1) 県内の選手同士でのダブルス出場を希望する者は、ダブルスの予選会で選考する。県外の選手をパートナーにしたい場合は、シングルスの予選会に参加すること。

また、**県内選手のうち、有資格者（前年度の全日本シニア大会のベスト 16 以内の選手）をパートナーとする場合も、ダブルスの予選会に参加すること。**

なお、ダブルスの予選会には、全日本シニア大会に出場する時と同じ年代及び同一ペアで必ず参加すること。予選会に出場した年代及びペア以外での全日本シニア大会の参加申し込みは受け付けない。

ただし、ダブルスで選考された者がシングルスまたは混合ダブルスに出場する場合の年代・パートナーは除く。

(2) 県外の選手をパートナーにしてダブルス出場を希望する者、または混合ダブルスのみの出場を希望する者は、シングルスの予選会に参加すること。

また、シングルスの予選会には、全日本シニア大会に出場する時と同じ年代で必ず参加すること。なお、全日本シニア大会に出場を希望するダブルスの年代と混合ダブルスの年代が異なる場合は、ダブルスの年代で予選会に参加すること。

(3) ダブルス・シングルスともに選考された者が上記の年代・パートナーと異なる申込みをした場合は、故意の有無に関わらず該当者を失格とし、翌年以降 3 年間の予選会の出場を認めない。

(4) 予選会に参加する選手の年齢と出場する各種目の年代に差異が生じている場合は、県協会大会事業部が確認することがある。

(5) その他、選考方法等の詳細は別紙を参照してください。

◆75 歳以上、80 歳以上、85 歳以上の種目は、公開種目（フリー参加）のため、出場希望者は、予選会当日に受け付けるので、全日本シニア大会の申込書および参加料（一種目一人あたり 6,000 円）を持参すること。

◆競技中の傷害等の事故発生の場合、主催者は応急処置のみを行う。参加各人において、別途傷害保険に加入することが望ましい。

◆大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

以上

別紙

１．選手割当数の取り扱いについて

全日本シニア大会の各都道府県の選手割当数については、有資格者を除き、「最低割当数６＋（前年度登録者数※）×5%」と定められており、福井県は例年 45 人程度の割り当てがあります。

福井県バドミントン協会として、全日本シニア大会の県代表選手の選考を「２．選考方法について」のとおり行いますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

※ 前年度登録者数・・・令和７年度日本バドミントン協会登録区分「一般」登録者数

全日本シニア大会出場の有資格者は、前年度同大会のベスト 16 の選手となります。

２．選考方法について

（１）予選会への参加申込者数が選手割当数を超えた場合、次の順により、全日本シニア大会の出場候補者を選考する。（出場候補者とは、全日本シニア大会への出場権を得る候補者のことを指し、出場の可否については県協会常任理事会にて決定される。）

①予選会における各年代の各種目第１位の選手。（下記注意事項を参照すること）

◆①で選手割当数を超える場合

次の順に該当する選手を優先的に選考する。

②①のうち、有資格者をパートナーとする選手。（県外の有資格者も可とする）

③①のうち、有資格者が選んだパートナーとなる選手。ただし、有資格者の予選会への出場の有無は問わない。（県外の有資格者も可とする）

④①のうち、予選会で参加者人数の多い年代の選手。

上記②～④でそれぞれ選考する際に、該当する選手が複数いる場合は、県シニア大会の結果等を参考に選考する。

◆①で選手割当数を超えない場合

②有資格者の選んだパートナー(予選会に出場)となる選手。ただし、有資格者の予選会への出場の有無及び、パートナーの予選会の順位は問わない。（県外の有資格者も可とする）

③シングルスで選考された年代の第１位の選手が選んだパートナー(予選会に出場)となる選手。

④各年代の２位となった選手。ただし、参加者人数の多い年代の順から選考する。

上記②～④でそれぞれ選考する際に、該当する選手が複数いる場合は、直近の全日本シニア大会及び県シニア大会等の結果を参考に選考する。

また、上記による出場候補者を加味しても福井県の選手割当数を超えない場合は、県予選会の結果を参考に、参加者人数の多い年代の順に出場候補者とする場合がある。（県協会常任理事会にて選考する。）

◇注意事項

・ダブルスで選考された選手が混合ダブルスに出場したい場合は、そのパートナーは、有資格者または出場候補者の中から選ばなくてはならない。なお、その場合の出場する年代は問わない。県外のパートナーも可とする。また、シングルスに出場したい場合も、その出場する年代は問わない。

・シングルスの有資格者がダブルスに出場したい場合は、そのパートナーは、有資格者または出場候補者の中から選ばなくてはならない。なお、その場合の出場する年代は問わない。県外のパートナーも可とする。

（２）予選会への参加申込者数が選手割当数を超えなかった場合、予選会への参加申込者は全員出場候補者とし、残りの選手割当数については、期間を定めて、出場候補者の２次募集を行う。なお、募集する種目は、ダブルス、シングルス、混合ダブルスの区別及びパートナーの制限は設けない。ただし、２次募集に申込みした人数が選手割当数を超える場合は、県シニア大会の結果等を参考に選考する。

３．全日本シニア大会に関する手続きについて

①前年度全日本シニア大会でベスト 16 に入った選手（有資格者）には、個別に出場確認の書類を送付する（5 月末送付予定）ので、必要事項を記入のうえ、**６月２８日（日）まで**に必ず返送すること。なお、本予選会当日に、会場まで持参しても構いません。

②本予選会で出場候補者となった選手は、本予選会終了後、全日本シニア大会の参加料(一種目一人あたり **6,000 円**)を仮納入していただくため、準備しておくこと。